区分31	専門分野 血液学的検査	授業科目名	血液検査学	単位数	1単位 （20時間）
開講時期	3年　後期	担当教員	井田　博之	担当教員の実務経験	(有)・無

◆実務経験の内容

国立病院機構病院に入職して（長崎医療センター→嬉野医療センター→九州医療センター→長崎川棚医療センター→福岡東医療センター→熊本医療センター）38年間の勤務経験の中で主に血液検査に従事した。認定血液検査技師として血液内科医師との骨髄像カンファレンスなどにも参加して、血液疾患患者の診断・治療に関与した。主任技師の立場では臨地実習生の指導を行い、技師長の立場では実習生の面談（就職相談）を行った。

◆授業の目的・目標

国家試験に必要な知識について、1年次、2年次、3年の臨地実習等で学んだ知識と技術を再度まとめ、知識の総整理を行い特に過去門の重要性を説きながら国家試験合格を目指す。

◆授業の概要・授業方針

最終目標である国家試験の過去問から得られる重要ポイントを押さえながら、学生の疑義・質問を重視し、個々の知識を引き上げる。

◆テキスト・参考資料等

基本は教科書であるが、各社の過去問集などを活用する。

◆成績評価の方法

卒認試験

授業計画		チェック欄
第1回	基礎（造血、組成、性状、機能、検体採取と保存）	
第2回	血球（赤血球・白血球・血小板）、血球に関する検査	
第3回	止血機構（血管と止血・血小板の機能）	
第4回	凝固機構（凝固機序と凝固因子・凝固制御）	
第5回	線溶機構（線溶機序と線溶因子・線溶制御）	
第6回	血液検査結果の評価（赤血球＝貧血・多血症）	
第7回	血液検査結果の評価（白血球＝形態異常・機能異常・増加症・減少症）	
第8回	血液検査結果の評価（血小板＝減少症・増加症）	
第9回	血液検査結果の評価（凝固系・線溶系・血管異常）	
第10回	総合	